

ICHIKAWA GENERAL HOSPITAL

東京歯科大学市川総合病院
病院のご案内



東京歯科大学市川総合病院

患者さんのスムーズな受診のために

地域医療支援病院として

当院は地域医療支援病院として患者さんと医療に関わる皆さんを
より一層バックアップできるよう、さまざまな窓口を開設しています。

初診のご案内

受診の際には、医療機関からの紹介状が必要です。紹介状のない場合は選定療養費(9,900円・税込)がかかります。

受付時間 平日 8:30～11:00／土曜日 8:30～10:30(第2土曜日を除く)

休 診 第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始、創立記念日(2月12日)

お問い合わせ：患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-322-0151(代表)

医療機関専用

初診事前予約のご案内

初診患者さんのご予約を、医療機関からのFAXにて承ります。申込フォーマットはお問い合わせください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-322-0151(代表) FAX. 047-324-8539(直通)

受付時間：平日 9:00～17:00／土曜日 9:00～12:00(第2土曜日を除く) ※休診日、時間外の場合は、翌開院日の対応となります。

緊急紹介対応窓口

緊急で受診が必要な患者さんのご紹介には看護師が受診調整を行っています。お電話にて病状をお伝えください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-324-8537(直通)／047-324-8623(直通)

受付時間：平日 9:00～17:00／土曜日 9:00～12:00(第2土曜日を除く)

心臓病センター

心疾患が疑われる場合は、下記にご連絡ください。医師が直接対応いたします。

心臓病センターホットライン【患者非公開】 TEL. 047-324-8671(直通)

放射線科ダイレクトサービス

CT・MRI・RIの画像診断のご依頼を承ります。初回は登録が必要となります。

放射線科受付 TEL. 047-322-0151(代表)

ご予約受付時間：平日 9:00～17:00／土曜日 9:00～12:00(第2土曜日を除く)

5つの部門で手厚くサポート

患者支援センター

患者支援センターは、患者さんご家族が安心して
治療に専念できるように支援するとともに、患者さん
に対して入院前から退院やその後の在宅生活を含
めた切れ目のない医療とサービスの提供ができるよ
う、医療機関・施設などとの連携に努めています。

●連携事務部門

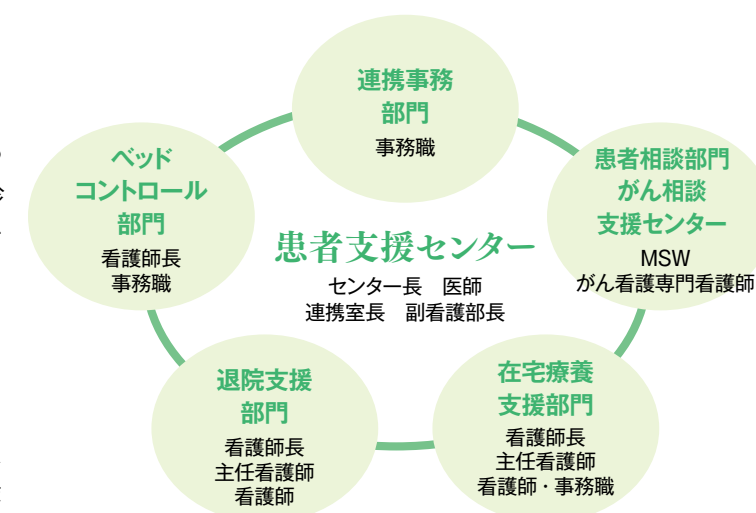
医療機関の先生方と連携強化を図るため、院内外における
連絡調整窓口として対応しています。紹介状の返書管理診
療予約や診療情報提供書などの手配、また講演会の開催を
実施しています。

●患者相談部門 がん相談支援センター

治療や療養生活、不安や悩み、情報探しのお手伝いなど、
さまざまな相談について、専門の相談員がお応えしていま
す。当院の患者さん、ご家族だけでなく、地域や世代を問
わずどなたでもご相談いただけます。

●在宅療養支援部門

1日も早く入院前の生活を継続できるように、患者さんや
ご家族と入院前に外来にて面談を行い、入院準備のための
支援をしています。また入院前から地域の在宅療養支援者
と連携を図ることで、切れ目のない支援が行えるように取
り組んでいます。



●退院支援部門

平均在院日数が短くなるなか、入院直後から院内外の多職
種と連携して、退院後も切れ目なく必要な医療や介護が受
けられるように支援しています。

●ベッドコントロール部門

病院のすべての病床を一元管理し、入院治療を必要とする
患者さんに、速やかに適切な病床を提供しています。

市川リレーションシップカンファレンス

地域の先生方と当院の医師とのより深い相互理解を得ることを目的としたカンファレンスを行っています。

開催回数	演題	開催年月	詳細
第 46 回	「悪性腫瘍の治療 up to date」	2024年9月	『当科における大腸癌治療～これまでとこれから～』 『口腔がんの早期発見～大学院の研究テーマから現在の着地点まで～』
第 47 回		2024年11月	『心房粗動による頻脈誘発性心筋症に対し、薬物治療とカテーテルアブレーションを施行し心機能が正常化した一例』 『こう変わる！抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン』
第 48 回	「知っておきたい医療の ブリーチン」	2025年2月	『大人向けワクチン 最新情報』 『薬剤関連顎骨壊死を予防する観点から』
第 49 回	「診療科紹介」	2025年5月	『口腔がんセンターの取り組み～口腔がん医療の未来を拓く～』 『当院外科の新たな潮流、脾臓がん早期発見を目指して』
第 50 回	「新任者紹介」	2025年7月	『地域とつながるスペシャルニーズ歯科医療 - 市川総合病院が担う地域支援のかたち』 『心臓血管外科領域のイノベーション』



診療部門のご案内

神経内科

入院診療では脳血管障害、神経感染症などの救急疾患を中心に、外来診療では片頭痛、神経変性疾患、神経免疫疾患などの慢性疾患を中心に幅広い診療を行っています。スタッフが専門性を活かして適切な治療を提供しており、脳血管障害については脳神経外科とともに脳卒中センターにて治療を行っています。臨床研究も積極的に行っています。また、片頭痛については治験も行っております。

精神科

当院は、各種の脳画像・神経心理の検査が可能です。これは近年増加する認知症診断に不可欠で、その依頼などを通じて地域の先生方と連携しております。一方で現在は、うつ病や不安症などは薬だけで治すのではなく、心理社会的支援や主治医との長い関係性も重視される時代です。そのためリソースに欠き、また若い医師の出入りが頻回の当科では、それらの疾患のサポートが可能な近隣医療機関に速やかな橋渡しを心がけております。

呼吸器外科

原発性肺がんや転移性肺腫瘍に代表される肺悪性腫瘍を中心に、自然気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍(胸腺腫、胸腺がん、神経腫瘍、リンパ腫など)、気管腫瘍、各種の原因による気管・気管支狭窄、胸壁腫瘍、臃胸、肺良性疾患、胸部外傷などの外科治療を対象としています。手術では安全性と確実な治療効果を第一の目標とし、状況に応じて術後の痛みの軽減を考慮した胸腔鏡手術や胸壁の損傷を最小限とする工夫をしています。

リハビリテーション科

診療区分は脳血管I、運動器I、呼吸器I、心大血管I、廃用I、がんの6種類で、リハビリ医の指示のもと担当制で訓練を行っています。「早期離床チーム」があり、ICU・HCU入室後48時間以内に多職種による早期リハビリテーションプログラムを導入し、退室後もシームレスなリハビリテーションの継続実施が可能となりました。また脳卒中センター、心臓病センターに専従療法士を配置し、超早期からのリハビリテーションを実施しています。

内科

糖尿病・内分泌分野、血液分野、腎臓高血圧分野、リウマチ・膠原病分野の診療を行っています。疾患として、糖尿病(1型・2型)、脂質異常症、バセドウ病(糖尿病・内分泌分野)、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫(血液分野)、腎炎、慢性腎不全、高血圧(特に治療抵抗性)(腎臓高血圧分野)、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚炎症(リウマチ・膠原病分野)などに対応しています。

呼吸器内科

呼吸器感染症、肺がん、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの疾患を担当しています。肺がんに対する化学療法、免疫療法、放射線療法、緩和療法などを得意とし、気管支鏡検査やCT下経皮的肺生検などによる組織診断を行います。治療方針は、がんの状態を検査し外科や放射線科との合同カンファレンスにて総合的に検討しています。また、早期に緩和ケアチームに相談して症状緩和に努め、年齢や合併症を考慮した総合的な治療を提供しています。

小児科

基本的にどの疾患も診療の窓口として拝見します。心臓疾患や低身長・肥満・思春期に関するご相談などを各専門医が担当しています。さらに小児アレルギー専門医による食物負荷試験、皮膚科と協働し乳児血管腫に対する内服薬治療・レーザー治療、頭のかたち外来での頭蓋変形の診断やヘルメット矯正治療も行っています。先天性代謝異常等検査、乳幼児・学校健診などの精査機関として、地域のお子様の心身の成長と健康を見守っています。

脳神経外科

脳腫瘍、脳血管障害、機能疾患などの診療を行っています。脳腫瘍は、髄膜腫などの良性腫瘍、神経膠腫などの悪性腫瘍いずれも手術経験が豊富です。悪性腫瘍に対しては、覚醒下手術、遺伝子診断、放射線療法・化学療法などにより適切な治療を提供しています。脳血管障害は、開頭術と血管内手術いずれも対応しています。機能疾患は、三叉神経痛、顔面けいれんの外科治療を行っています。

心臓血管外科

循環器内科と連携し、手術が必要となった循環器疾患の患者さんの診療にあたり、大動脈疾患、後天性心疾患(冠動脈疾患や心臓弁膜症)、不整脈疾患など、幅広い領域にバランスよく対応しています。また、低侵襲手術にも積極的に取り組んでおり、心拍動下冠動脈バイパス術や小切開による心臓手術に加え、大動脈領域ではステントグラフト治療や、ステントグラフトを用いたハイブリッド手術などにも対応しています。

消化器内科

ほぼすべての消化器疾患に対する診断、治療が可能です。内視鏡は年間約5,000件以上行っており、止血処置、早期がんを内視鏡で切除するESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)やERCP(内視鏡的逆行性胆道膵管造影)を数多く行っています。特に胆道・膵疾患に関しては小腸内視鏡を用いた胆道処置、超音波内視鏡下瘻孔形成術、電気水圧衝撃波結石破碎術など特殊治療も行っており、東葛南部医療圏で中心的な施設となっています。

循環器内科

心不全、急性心筋梗塞、狭心症、および不整脈など、ほぼすべての心疾患に対応しています。診療ガイドラインに基づく適切な薬物治療はもちろん、ステント治療、カテーテルアブレーション、ペースメーカー、それにPCPS/ECMOといった高度専門的医療まで提供可能です。24時間365日専門医が当直・待機しており、特別な事情がない限り急患をお断りすることはありません。また、慢性心不全の病診・多職種連携に精力的に取り組んでいます。

外科

主に消化器がんを治療対象とした消化器外科を中心に、乳房などのがん治療、胆石やヘルニア、直腸脱などの良性疾患に対する手術、腹部・末梢血管の動脈瘤、動脈閉塞症、静脈瘤や動脈・静脈血栓症に対する外科治療などを行っています。消化器外科、血管外科、乳腺外科という多岐多様な領域の疾患をそれぞれの分野の専門医師が担当し、チームワークを活かして幅広い外科医療を提供しています。

整形外科

脊椎・脊髄外科、骨軟部腫瘍、小児整形外科、人工関節外科の各部門において日本整形外科学会認定の指導医・専門医が診療にあたっています。骨軟部腫瘍、小児整形外科は限られた施設でのみ治療可能な分野であり、当科の特長です。脊椎・脊髄疾患は、顕微鏡下にて低侵襲手術を行い、術後の早期離床・早期退院を実現しています。2025年度より、脊椎変形に対しより安全・正確な手術を行うため、MAZOR Xを用いたロボット支援下手術を行っています。

皮膚科

帯状疱疹、蜂窩織炎などの急性感染症をはじめ、薬疹、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、乾癬、水疱症や皮膚がんなど幅広く診療しています。歯科大学附属病院の特性を活かし、口腔粘膜疾患には歯科・口腔外科と連携した粘膜外来を開設しています。血管腫や血管奇形に対しては形成外科や小児科と連携して診療にあたり、色素レーザー機器を導入し包括的な治療を提供できる体制を整えています。

泌尿器科

前立腺、膀胱、腎臓、尿管の悪性腫瘍から尿路結石、前立腺肥大症などの良性疾患まで幅広い診療を行っています。低侵襲治療を推奨しており、ロボット補助下腹腔鏡手術、3D腹腔鏡手術、単孔式腹腔鏡手術を導入しています。前立腺肥大症には経尿道的前立腺核出術、蒸散術に加え水蒸気や牽引による低侵襲治療、尿路結石には体外衝撃波や内視鏡下破碎術、がんには放射線治療(IMRT)など、さまざまな装置と技術による低侵襲な治療を行っています。

眼科

眼科一般診療だけでなく角膜移植、再生医療、ドライアイ、網膜硝子体、緑内障などの専門外来を設置しています。内科との糖尿病網膜症の治療、歯科・口腔外科や内科とのシェーグレン症候群のような難治性症例への対応など、院内連携を行うことができるのが特徴のひとつです。角膜移植は国内最多の移植件数を誇りますが、常に新しく、より有益な術式を取り入れ、当該分野のフロントランナーとして実績を積んでいます。



放射線治療装置トモセラピー

臨床検査科 / 病理診断科

生検検体と手術摘除検体の組織診断、細胞診断、術中迅速診断を行い、各診療科における治療方針決定に貢献しています。対象となる疾患は腫瘍性非腫瘍性を含め全身多岐にわたり、地域がん診療連携拠点病院として消化管、肝胆膵、乳腺、肺、腎、泌尿器、生殖器、骨軟部などの各種がんの病理診断に対応しています。特に「口腔がんセンター」を有する当院では口腔がんの診断数が多いのが特徴です。

歯科・口腔外科

親知らずの抜歯や先天疾患(口唇・口蓋裂手術や顎矯正手術)、外傷、顎骨疾患、顎顔面インプラントなどの高度な口腔外科治療を行っています。また全身疾患を有する患者さんや障がいのある方の歯科治療、口腔粘膜疾患、睡眠時無呼吸、顎顔面疼痛などの専門外来も開設しています。さらに、入院患者さんの口腔ケア、摂食嚥下リハビリテーション、骨粗鬆症患者さんに対するチーム医療にも参加しています。



手術支援ロボット

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科全般の治療を行っています。複数の専門医が在籍しており、専門領域は鼻副鼻腔、咽喉頭、耳、頭頸部と広範囲にわたります。睡眠障害や摂食障害などの機能障害も対応可能です。鼻副鼻腔疾患においては慢性副鼻腔炎、特に好酸球性副鼻腔炎に対し内視鏡下鼻内手術を行っています。また、歯性上顎洞炎、睡眠障害、摂食障害では歯科・口腔外科と連携し治療に当たっています。

放射線科

放射線科では、CT装置やMRI装置などの診断機器を用いて、さまざまな画像検査を行っています。5名の放射線診断医が、診断報告書を作成するとともに、多様なIVRも数多く行っています。放射線治療部門では、高精度放射線治療が可能であるトモセラピー装置を用いて悪性腫瘍に対する放射線治療を行っています。2名の放射線治療医をはじめ、看護師、診療放射線技師がチームとなってこれに当たっています。

緩和ケア科

さまざまなつらさを軽減するための診療を行っています。がんによる身体の痛みの治療に鎮痛薬は欠かせません。多くの効果の高い医療用麻薬が使用可能になり、吐き気や眠気などの副作用も軽減しています。当科ではがん性疼痛管理の指針を策定し、薬物による症状コントロールをはじめ精神療法、さらには放射線治療も組み合わせた疼痛軽減を図っています。疼痛が改善され安心して療養できるよう支援をしています。



歯科外来棟

産婦人科

妊娠管理・分娩を取り扱う周産期医学、不妊やホルモンに関する生殖内分泌学、婦人科がんを治療する婦人科腫瘍学、女性のQOLの向上を予防医学の立場から考える女性医学を4つの柱として専門医を中心に医療を提供しています。「女性のライフパートナー」としての総合産婦人科を目指し、がん治療後の卵巣欠落症状への対応にも力を入れるなど、治療後のQOLにも配慮した対応をしています。

形成外科

形成外科全般の領域において、専門医が専門性の高い診療を行っています。特に頭頸部・その他領域の腫瘍切除後や外傷後などの再建外科、顔面神経麻痺治療、リンパ浮腫に対する外科的治療などを得意としています。皮膚の良性・悪性腫瘍は皮膚科と密接に協力し、顔面神経麻痺治療についても早期から耳鼻咽喉科・眼科の協力のもとで総合的な治療を行うなど、院内他科と連携し、治療しています。

麻酔科

日本麻酔科学会指導医、日本専門医機構専門医、日本歯科麻酔学会専門医・認定医を中心に、医科・歯科合わせて年間4,400例以上の麻酔管理を行っています。手術室看護師と連携して手術室の安全管理、周術期の質の向上を図っています。昨年度には疼痛管理チームをつくり、さらなる周術期の質の向上を目指しています。また、医科・歯科問わず研修医・専門医の教育にも力を入れています。

救急科

当院は2次救急医療機関ですが、市内に3次救急医療機関がないため重症例の受け入れも広く行い、市川市中心部から北部の急性期医療を担っています。救急車で来院される患者さんは年間約6,000人で、入院を必要とする中等症以上の患者さんは約3割です。重症度や緊急性の高い急性期の医療を中心に、地域のニーズを意識した救急医療の提供に努めています。

口腔がんセンター

全国でも数少ない、口腔がんの治療に特化した高度な専門治療を行っています。各専門科と連携し手術やがん化学療法などを行うことで、安全な医療の提供を心がけています。口腔がんは、食事・会話・顔貌といった生活に直結した場所に生じるため、常に機能温存に重点を置き適切な治療法を選択します。治療後の機能回復については、義歯や顎顔面インプラント、摂食・嚥下指導などの専門治療を受けることができます。

リプロダクションセンター

国内初の凍結受精卵による妊娠・分娩の成功など多くの実績があります。女性・男性ともにペアでご受診いただき、それぞれの検査を通じてテラーメイドの不妊症治療のご提案をしています。人工授精までの一般不妊治療から体外受精・顕微授精といった生殖補助医療まで実施しています。また担当患者さんの卵子・精子・胚の長期保存(がん生殖)も行っています。



透析センター

透析センター・腎不全治療センター

泌尿器科医と腎臓内科医が在籍しています。腎不全には腎代替法として血液透析、腹膜透析、腎移植のいずれかが必要となりますが、これらの治療はそれぞれに特徴があるため、泌尿器科医と腎臓内科医が共同で、患者さんと最適な治療方法を選択しています。当院は献腎移植の認定施設となっており、生体腎移植では腎提供ドナーに低侵襲な単孔式腹腔鏡手術を行っています。

医療安全管理部の ご案内

専従の医療安全管理者や感染管理者、感染管理認定看護師、薬剤師などからなる医療安全管理部を設け、医療現場における安全の確保と感染予防対策を行っています。

糖尿病・内分泌センター

1型・2型糖尿病のほか、甲状腺疾患などの内分泌疾患を担当しています。外来診療ではインスリン導入をはじめ持続グルコースモニタリング(CGM)やインスリンポンプ療法にも対応可能です。糖尿病専門看護師による予防的フットケア外来、看護師・管理栄養士とともに行う透析予防外来も開設しています。入院診療では糖尿病教育入院や高血糖緊急症などの急性合併症管理を行っています。また月に1回、糖尿病教室を開催しています。

心臓病センター

ホットライン(医師専用)
047-324-8671

急性心筋梗塞、心不全などの心臓疾患を治療するため、24時間365日専門医が待機し、急患の受け入れを行っています。地域医療機関の先生からのお問い合わせに対し、専門医師が直接対応できるホットラインを設け、救急患者さんの受け入れができる体制を整えています。循環器内科と心臓血管外科が連携することで、内科的治療と外科的治療の総合的な治療を可能にし、迅速かつ患者さんに適した医療を提供しています。

角膜センター

海外ドナー角膜の手配、情報管理、移植者のフォローアップを行う角膜移植関連業務部門、提供された眼球を移植者に公平・公正に幹旋するアイバンク部門、角膜再生医療に加えてドライアイ、角膜移植に関する基礎、臨床研究を実施する研究部門の3部門で活動しています。全層角膜移植、角膜内皮移植、上皮移植や羊膜移植などの角膜移植の術式が対応可能となり、より多くの症例に対して適した術式を選択できるようになりました。

医療安全管理室

医療安全管理室では、当院の理念に基づき、一人ひとりの患者さんに最良の医療を提供するために、安全管理体制の整備を行い、インシデント事例の再発防止に向けた改善への取り組みや、5Sラウンドなどの医療安全活動を継続し、医療事故の防止に取り組んでいます。また患者相談窓口とも連携し、患者さんの抱える不安や悩みに寄り添い、医療の安全を確保するために日々活動しています。

高難度新規医療技術等評価室

当院では、先進的で高度な医療技術や医療機器を診療に新規導入する際に、倫理的・科学的な妥当性や、当院での診療に導入することの適切性、および安全な提供方法を当室が中心となり検討を重ねています。そこで下した判断をもとに、より安全な医療技術・医療機器の新規導入を実行に移しています。

脳卒中センター

脳卒中急性期医療を担うべく、24時間365日脳卒中救急患者さんを受け入れています。日本脳卒中学会より一次脳卒中センター(PSC)、PSCコア施設と認定され、日本脳卒中学会指導医、脳卒中リハ看護、摂食・嚥下障害看護認定看護師を擁します。急性期は必要に応じてt-PA静注療法、血管内手術・内視鏡手術・開頭術を行います。SCUで集中管理し、千葉県共用脳卒中地域連携バスで、回復期リハビリ病院、かかりつけ医、在宅療養につなぎます。

脊椎・脊髄病センター

当センターでは、「安全性」「確実性」「低侵襲」を3つの柱にして手術を行っています。具体的には、顕微鏡を使用した筋肉温存型低侵襲手術を行い、超高齢者にも行える低侵襲手術を実践しています。また、脊椎固定術に脊椎手術支援ロボットを導入し、より安全で確実な手術を行っています。がん治療の発展に伴い増加している転移性脊椎腫瘍に対しても脊椎固定術を施行し、患者さんのQOL向上に努めています。



角膜センター

感染予防対策室

医療機関において、感染制御と医療安全は両翼をなすといわれます。当院の感染予防対策室では、感染に関する最新の情報を収集し、治療の質の向上、院内感染の防止に取り組んでいます。抗菌薬適正使用の風土づくりにも力を注いでおり、毎週、広域抗菌薬投与状況を確認、検討し、現場へフィードバックしています。さらに、さまざまな耐性菌や麻疹、風疹などの流行について自施設のみではなく地域の問題として捉え、地域の医療機関と情報の共有化を図り、感染拡大防止に努めています。

医療の質管理室

医療の質とは「個人と集団への医療行為が望ましい健康状態をもたらす確率、最新の知識と一致する程度」と定義されます。医療の質管理室では、当院の医療の質の向上を図り、医療安全に資することを目的としています。院内各部署で集計したデータをもとに臨床指標の評価と分析を行い、関連部署へのフィードバックをすることで、医療の質改善のPDCAを回すサポートをしています。質と安全の両輪でよりよい病院づくりに貢献していきます。

中央施設 部門のご案内

より安全で円滑に治療を受けてもらえるよう、各部門が専門性を活かし、診療をサポートしています。

手術室

中央手術室(9室)、第2部手術室(3室)を備え、各診療科の特性に合わせた手術ができるように設備・人員を整えています。外科系医師、麻酔科医師、看護師、臨床工学技士などがチームとなり安全かつ円滑に手術が行えるよう努めています。また、病棟・外来・薬剤部などの部署と連携を図り、周術期管理を行っています。前立腺がん、直腸がん、胃がんに対しhinotori™を、さらに、脊椎手術に対しMAZOR Xを用いたロボット支援下手術を行っています。

輸血センター

年間およそ4,000件の輸血を実施しています。血液型、不規則性抗体、交差適合試験などの検体検査や輸血用血液製剤・自己血の保管、管理をしています。主な血液製剤は赤血球液、新鮮凍結血漿、濃厚血小板製剤ですが、専用の保冷库・冷凍庫で適切に温度管理をしています。安全性を高めるため、輸血専用のシステムを用いて製剤の入出庫・在庫の状況や患者さんの輸血歴などを保管・管理しています。

薬物療法室

外来通院する患者さんを対象に、抗がん薬や生物学的製剤の投与に特化し、治療に伴う副作用への対応を行っています。薬物療法科医師を中心に、各診療科医師や専門資格を有する看護師・薬剤師など経験豊かな多職種が、専門性を活かしてチームで患者さん・ご家族を支援しています。適切な治療を効率的に実現することで、安全・安心・確実に治療が継続できるように努めています。

放射線科(技術部門)

放射線科では、レントゲン検査、CT検査、MRI検査、血管造影検査、放射線治療など多岐にわたる検査や治療を行っています。高度な機器を多く揃えており、これらの機器を扱う診療放射線技師は、患者さんに安全で質の高い検査や治療を提供できるよう検査技術、治療技術のスキルアップに日々取り組んでいます。また、安心して検査や治療を受けていただけるよう装置の品質管理や放射線の被ばく管理を徹底して行っています。

看護部

患者さんの気持ちに寄り添い、信頼される質の高い看護の提供を目指しています。安心・安全な看護が提供できるよう、看護体制は、2人の看護師がペアとなり相互に協力し合って日々の看護ケアを行うパートナーシップ・ナースィング・システム(PNS)を取り入れています。また、多くの専門看護師や認定看護師、院内認定看護師が、専門的な知識や技術を活かして、治療を受ける患者さんやご家族を支えています。

健診センター

各診療科の専門医による診察、検査、画像読影・診断を行い、信頼度の高い人間ドックを目指しています。受診後は健康な生活習慣の維持・健康増進に役立つ助言を行い、再検、精査、治療については希望により当院各診療科へ迅速かつスムーズに紹介しています。さらに、当院の特長を活かした詳細な歯科診察、口腔機能低下症検査や口臭検査などのオプションを用意し、健康寿命延伸に役立てていただけるように努めています。

集中治療室

重症感染症患者の治療に対応した陰圧室2床を含む6床を有し、周術期管理症例に加え、高度生命維持装置の装着が必要な症例を中心に年間約500例を受け入れています。医師、看護師に加えて薬剤師、臨床工学士、理学療法士、管理栄養士など、多職種で組織されたチームにより、高度集中治療を実践しています。早期離床リハビリテーション、早期栄養介入管理に積極的に取り組み、集中治療管理からの回復の向上に努めています。



薬物療法室

臨床検査科(技術部門)

検体検査「生化学・免疫検査、血液検査、輸血検査、一般検査」は24時間体制で行い、常に品質の高い検査と迅速性を追求し、適切で円滑な医療を提供できるよう努めています。また、中央採血室、微生物検査、病理検査、生理機能検査も含め、国際規格「ISO15189」認定施設として患者ケアに影響を及ぼす可能性のある不適合の減少に努めながら地域医療支援に貢献しています。

薬剤部

患者さんに質の高い安全な薬物療法を提供するために、内服薬調剤・注射薬調剤、抗がん薬の混合調製や特殊な製剤の調製、薬品の在庫や医薬品情報の管理などの薬品に関する業務と病棟や外来での患者さんへの薬の説明や効果・副作用の確認なども行っています。また、さまざまな分野の専門・認定薬剤師が在籍し、院内の医療チームで活動しています。さらに患者さんが退院後も安全で有効な薬物療法を受けられるように、地域の薬局との連携も行っています。

MEセンター

医療機器管理部門と手術室部門と血液浄化部門の3つの部門からなり、医療機器の安全な使用に貢献しています。機器管理部門は人工呼吸器や輸液ポンプなど約800台の医療機器の管理・点検を行います。手術室部門は手術室にある医療機器の管理、心臓外科手術や循環器内科の治療に関わります。血液浄化部門は透析装置や透析液の水質管理、ブラッドアクセスへの穿刺も行います。

栄養管理室

入院患者さんの栄養状態の回復・維持・向上を目的として、栄養・食事管理や栄養指導を行っています。食事療養サービスでは病状に合わせた食事提供を、栄養指導では生活習慣や健康状態に配慮した栄養食事指導を行います。臨床栄養管理では栄養状態を評価、管理し、総合的に栄養管理を行います。特別な栄養管理は、多職種による栄養サポートチーム(NST)がお手伝いします。

コ・デンタル部

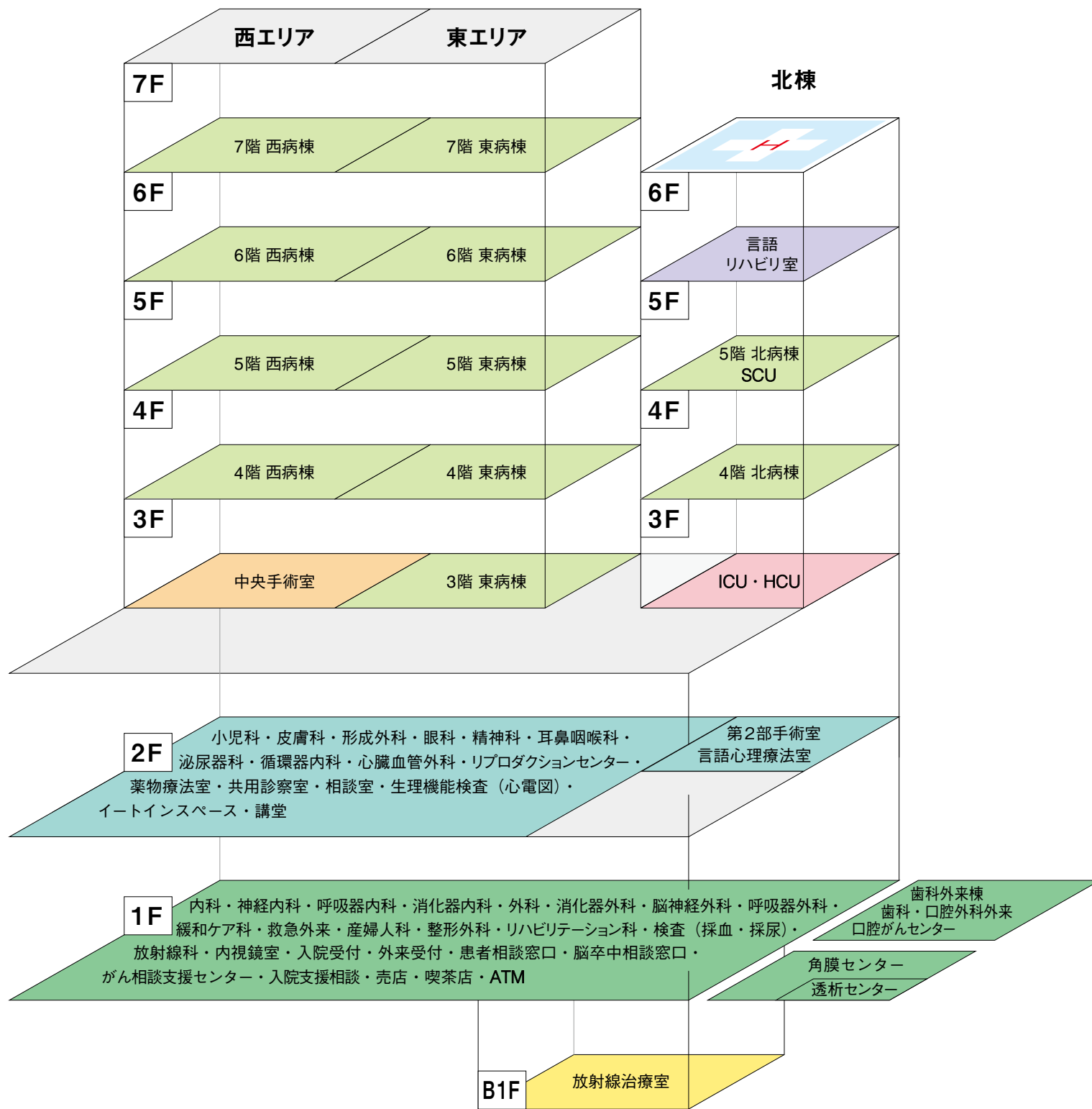
1名の歯科医師、17名の歯科衛生士と1名の歯科技工士が在籍しています。患者さんの口腔衛生や口腔機能の維持・向上、誤嚥性肺炎などの術後合併症の予防を目的として設置されました。口腔内の健康管理だけでなく、口腔を通して全身管理を行うことも大切にしています。また患者さんが「美味しく食べられる」「楽しく会話ができる」などのQOL向上のための支援も行っています。

内視鏡室

日本消化器内視鏡学会指導医5名、日本呼吸器内視鏡学会指導医3名が常勤で在籍し、年間約6,000件を超える内視鏡検査、治療を行っており、安全かつ患者さんに負担の少ない内視鏡を目標に日々業務に励んでいます。早期がんに対する内視鏡治療、消化管出血に対する止血処置、黄疸に対する減黄処置、ステントの留置など、ほぼあらゆる内視鏡的処置を積極的に行い、特に胆道・膵疾患に関しては東葛南部医療圏で中心的な役割を担っています。

フロアマップ

当院のフロアマップとサービス設備をご紹介します。



⑫ 歯科外来棟入口



⑪ 薬物療法室



⑩ イートインスペース



⑨ 1F オストメイトトイレ



- エレベーター
- トイレ
- 車いす用トイレ
- 子どもと一緒に入れるトイレ
- オストメイトトイレ
- エスカレーター
- 管理区域のため進入禁止



① インフォメーション



② 売店（ATM：e-net、ゆうちょ）



③ ATM（三井住友銀行、千葉銀行）



④ 喫茶店



⑤ 受付窓口



⑥ 自動精算機



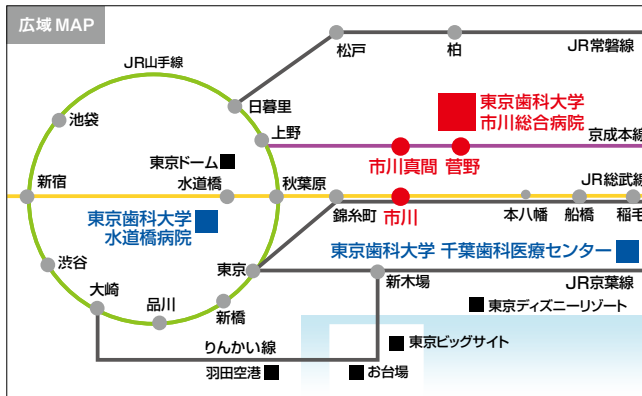
⑦ オンライン資格確認、自動再来受付機、あと払い受付機



⑧ 患者相談窓口、脳卒中相談窓口、がん相談支援センター、入院支援相談

ACCESS

- 1 JR総武線市川駅から、北口2番のりばより
京成バス「市川学園」行乗車、
「市川総合病院」下車
※JR総武線市川駅からタクシーで約10分。1,000円程度。
- 2 京成本線市川真間駅から、
市川真間駅停留所より
京成バス「市川学園」行乗車、
「市川総合病院」下車
- 3 京成本線菅野駅より
徒歩約15分



病院概要

■ 病床数 511床

■ 歯科診療台数 27台(外来25台、病棟2台)

■ 標榜診療科(26科)

内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科

■ 診療センター

口腔がんセンター、リプロダクションセンター、糖尿病・内分泌センター、脳卒中センター、心臓病センター、脊椎・脊髄病センター、透析センター、腎不全治療センター、角膜センター

■ 主な指定医療など

健康保険法保険医療機関、国民健康保険法療養取扱医療機関、労働者災害補償保険法指定医療機関、生活保護法指定医療機関、児童福祉法指定小児慢性特定疾病医療機関、難病法指定医療機関、原爆医療法被爆者一般疾病医療機関、障害者総合支援法自立支援医療機関指定病院、母子保健法指定養育医療機関、感染症法指定医療機関、千葉県肝炎治療特別促進事業指定医療機関、公害医療機関、身体障害者福祉法

■ 主な施設認定など

救急告示病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院、病院機能評価認定施設、ISO15189(臨床検査室認定)、脳死下臓器提供施設、腎臓移植施設、臨床研修指定病院、臨床修練指定病院、紹介受診重点医療機関、一次脳卒中センター(PSC)コア認定施設 など

■ 主な診療機器

手術支援ロボット(hinotori™)、放射線治療装置(トモセラピー、マイクロセレクトロン)、MRI(3.0テスラ、1.5テスラ)、CT(128列、320列)、核医学検査装置(ガンマカメラ)、血管撮影装置、マンモグラフィ装置、骨塩定量装置

関連施設

東京歯科大学水道橋病院

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18

東京歯科大学千葉歯科医療センター

〒261-8502 千葉県千葉市美浜区真砂1-2-2



東京歯科大学市川総合病院



〒272-8513 千葉県市川市菅野5-11-13 TEL.047-322-0151(代表)